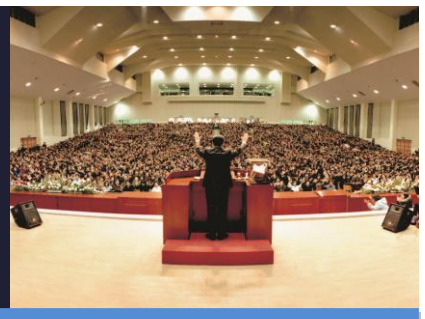
第 2017-28 号

恵みと真理のニュース



2017 年 7 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

私の健康を回復してくださり、伝道に力を尽くして教会学校で教師として奉仕するように導いてくださった神様に感謝します

ハレルヤ！私の罪を赦してくださって、信仰で私が永生を得て今日も感謝し喜ぶ心で主の事に献身するこの幸せを享受するようになさった救い主イエス様を賛美します。

私は区域長として教会を仕える真実な末子の叔妹から伝道されイエスキリストを信じるようになりました。2007年5月に舅が死なれ一人になった姑と共に暮らし始めている時に叔妹の積極的な伝道で 姑と共に教会に来てイエス様を受け入れました。初めは聖書の御言葉がよく理解できなくても教会に行って礼拝に参席するだけでも心が楽になり、教会に通うようになりました。

そうするうちにある日は奇妙に夢で何が良いか分からないですが、天国で笑顔をして私を見る舅の姿を見ました。その後、牧師の説教を聴くごとに恵みを受けて生きておられる神様の御声で聞こえました。聖書の御言葉が信じるようになって毎日時間を決めて創世記の1章1節から読み始めました。理解できなかった御言葉も当会長の牧師の説教を通して悟られその甘くて良い御言葉に感動され恵まれました。以前福音を聞いてもイエス様を信じなくて生きて来た過去を考えると神様に涙を流しながら悔い改める祈りと感謝祈りをしました。

結婚して4年が超えるほど子供がいなくて私の夫婦と家の大人達は心配しました。信仰生活を始めた後、私は妊娠するように切に願い、ハンナに息子を下さった全能なる神様を仰ぎ祈りました。すると、祈ってから1年ぶりに神様が子をはらむ福を与えてくださいました。

しかし、子供が一歳になる前、体がよく疲れて病院に行って検査を受けた結果、甲状腺亢進症の診断を受けました。医師の話を聞いて初めは普段健康だったのに、神様を信じる私になぜこのような病気が出来たのか落胆して神様を恨みました。他の人は大きい病気ではないと思われるかもしれないですが、私は衝撃でした。しかし、礼拝に参席して当会長の牧師が恵みの説教を聴いて神様は私を愛して私を錬達するのと思い肯定的に考えるようになりました。

御言葉の通り実践して病気が治るように神様に真の祈りをしました。癒してくださって健康な体でもっと主を仕えるのを願い祈って1年になる前に嘘のように治されました。それだけでなく神様は私に二番目の息子を産む喜びもくださって、神様をよく信じ仕える子供になるように養育してくださいました。このような神様の恵みを受けて私は不信家族と信じない人々のためもっと祈って福音を伝えました。すぐ伝道の成果が出なくても失望しなくて神様に選ばれて救われるのを願いながら伝道しました。そうするうちに2012年父が病気の中で牧師と伝道士が訪ねてこられ御言葉も伝えて、祈ってくたさるときことにアーメンと答えてイエス様を受け入れました。そして、最後は明るい顔で天国に召されました。 その翌年2013年には私が願っていた希望が成し遂げられ、旦那も決信して水洗礼を受けました。そして、2015年は今まで偶像崇拝をしていた母もイエス様を受け入れて家から近い教会に通い神様を畏れ愛する福になる人生を送っています。神様の恵みです。家族の中でまだイエス様を信じない家族もいますが"主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます”（使徒言行録 16：31）という御言葉を考えると励ましになり、伝道する力が出ます。早くすべての家族福音化になるように願います。また、彼らに信仰のモデルになって感動を与えるように努力しています。

他の人より遅い歳に二人の息子を産んで一人になった姑を仕えて様々な苦難がありました。当時には恨んでみたが、振り替えてみたらその過程で私の信仰を強くして私を働き者として用いてくださる主の摂理があったのを悟られ神様に感謝をささげました。神様は時によって助けてくださる愛と権能の手を出してくださり私の信仰も堅くしてくださいました。今も様々な苦難がありますが、神様は私に“何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト.イエスにあって守るであろう。”（フィリピ信徒への手紙4：6，7）御言葉を下さってこの御言葉に委ねて力を得ました。

神様は私に区域長の尊い職分と共に教会学校の教師の重い責任をくださいました。今日は人々の前で足りなくて弱い信仰の姿ですが、明日は神様に用いられるように、イエス様が見せてくださった敬いの人生を見習って、キリストの香りをそうし、キリストの手紙になる献身する人生を生きるように努力しています。

“神はあなたがたにあらゆる恵みを豊かに与え、あなたがたを常にすべてのことに満ち足らせ、すべての良いわざに富ませる力のあるかたなのである。”（コリントの信徒への手紙二9：8）この御言葉を強く信じて従順します。 私が生活の様々な苦難を経験して信仰が弱くなるときことに愛が多い首区域長をはじめ教区と区域で深い関心を持って励ましと祈ってくださいました。恵みと真理教会でこのような出会いの福を与えてくださった神様に感謝します。そして、何よりも御言葉と聖霊に満たされた教会に属してこの世を分別して神様が喜ばれる完全な御心を従って生きるようにしてくださった神様に感謝します。また楽しい心で教会と隣人と教会学校の子供達を愛し仕えるようにしてくださった神様に感謝をささげます。ハレルヤ！聖徒になって主の中で幸せな人生を生きるようにしてくださった神様を賛美します。

[信仰コラム]

生活の理由と意味

"...もし、今もなお人の歓心を買おうとしているとすれば、わたしはキリストの僕ではあるまい。"（ガラテヤ人への手紙 1:10）

人は自分の存在理由と意味を知ろうとします。人々の行動には動機があり目的があるという前提の下でこれを説明する様々な学説があります。精神医学者アルフレッド・アドラーはそれを＇権力意志＇だとしました。精神分析学者ジークムント・フロイトは＇快楽意志＇だとしました。神経精神科医者であるヴィクトール・フランクルは＇意味意志＇を力説しました。しかし、私達が必ず確認しなければならないことがあります。そのような考えの出処が人であればそのような理由と意味は終局にいって無意味なことになるという事実です。なぜなら人は自ら存在するのではなく神様のお造りを受けた存在であるからです。人間から出た宗教と思想、哲学では人が生きる誠な理由と意味を知ることができません。人が生きる誠な理由と意味を人をお造りなさった神様が啓示なさいました。その啓示が聖書に記録されています。

第一は、神様を礼拝するのが人が生きる理由と意味であります。

神様を知らなくて神様を礼拝せず、偶像を礼拝する人々が多くいます。ｓじかし、驚くべきなことは過去のイスラエル民族のように神様がどなたであるかを知りながらも神様が最も厭われる偶像に仕えあるいは、神様と偶像を兼ねて仕える人々が多いという事実です。神様が人生達に啓示なさった人が生きる理由と意味は神様を礼拝することです。創造主であり救い主でおられる神様だけを礼拝するのです。誠な礼拝がない人生とは結局、無意味で無価値なことになってしまいます。

第二、救いの福音を述べ伝えることが人が生きる理由と意味であります。

福音は救いの消息です。神様の怒りと審判を受けて地獄刑罰に処されるべきの罪人が罪の許しを得て神様の子になり天国で永遠に生きるようになるのが救いです。使徒言行録 26 章には使徒パウロがフェスト総督とアグリッパ王の前で裁判を受ける場面が記録されています。パウロは自分が以前にはキリスト教会を甚だしく迫害した者であったがどうして今は福音を伝えるようになったかを説明し始めました。そして、福音の内容が何であるかを具体的に述べました。

一、目を開き闇から光に進ませることだとしました。イエスキリストの福音を信じる者は心霊の目が明るくなり闇から光に進むようになります。二、サタンの支配から神様に帰らせることだとしました。イエスキリストを信じないと人を盗み、殺して滅ぼさせることをするサタンの支配の下にあります。しかし、

誰でも福音を聞いてイエス様を迎接するとサタンの支配の下から外され神様の権勢の下にいるようになります。三、罪の許しを得、聖なる者とされた人々と共に恵みの分け前にあずかるようになるとしました。福音を信じて罪の許しと聖なることを受けた聖徒は神様が嗣業として賜われることを得ます。現在に享受するのはキリストがくださる神霊な喜びと平安、聖霊の恵みと実、お祈りの応答であります。将来に享受するのは新たな天と新たな地、新たなエルサレムであります。

私達が行う事の理由がイエスキリストの中で啓示された神様を礼拝してイエスキリストの福音を述べ伝えることに関連されていれば永遠な価値と意味があります。しかし、とても重要なことがあります。私達が礼拝する神様と私達が信じて述べ伝える救い主について聖書通りに知って信じるべきだということです。私達が礼拝する神様はイエスキリスト以外には救いを得る他の名をくださらなかった神様であります。十字架につけられて私達の罪を贖ったイエス様だけが救い主です。

このような知識と信仰から少しでも片寄ると彼が行う礼拝と伝道が全て無駄であり、他の人を滅びに引く人になります。

皆さんが行う全てのことを神様を礼拝することと福音を述べ伝えること、この二つの軸に連携するようにしてください。そうして皆さんの生きることと行う全てのことが永遠な理由と意味を持つようにしてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

6.25戦争とその教訓を心に留めてください

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

今年は 6.25 戦争 67 周年になる年です。大韓民国の国民と同胞は、自由、平和統一になる日まで 6.25 戦争とその教訓を忘れてはいけません。歴史の教訓を学ばずに忘却する国民には未来がありません。
私たちの民族は 35 年間の日本の植民地の時代を通じて国を失った民族の悲哀を経験しました。しかし、1945 年 8 月 6 日と 9 日に広島と長崎に投下された原子爆弾の威力の前に、日本がひざまずきた意外に韓国は国権が回復しました。しかし、韓国と北朝鮮に分かれました。幸いなことに、1948 年 8 月 15 日、大韓民国の政府が樹立され、その年の 12 月 12 日、国連総会の決議により、大韓民国が韓半島での唯一の合法政府として認めました。ところが大韓民国政府が樹立された日からわずか 2 年も経たないし、北朝鮮の奇襲南侵で 6.25 戦争が勃発しました。

1.　1950 年 6 月 25 日奇襲南侵

6.25 奇襲南侵戦争が起きた当時、国軍の軍事力は将兵 10 万人であった戦闘装備が貧弱で、北朝鮮の軍事力とは比較できない状態でした。解放後、北朝鮮はソ連の支援で軍事力を増強し、訓練を強化しました。1949 年 3 月、金日成はソ連を訪問し、スターリンから韓国の攻撃を許し受け、続いて中華人民共和国の主席毛沢東と会って南侵の同意を獲得しました。1948 年 12 月、ソ連は北朝鮮でソ連軍を撤退させ、米国にも韓国では、米国の軍隊を撤退させることを要求して 1949 年 6 月、米軍が撤退しました
そうなると、金日成は 1950 年 4 月初め、朝鮮労働党中央政治委員会での武力統一案を確定させ、これを隠蔽するために、南北統一の最高立法会議のソウル開催と南北国会による統一政府樹立を主張するなど、平和攻勢をしました。このような策略に巻き込まれた国軍は油断して、1950 年 6 月 24 日、国軍将兵の 3 分の 1 は、外泊と休暇をいきました。軍首脳部と主要指揮官は陸軍将校クラブ概観パーティーに参加して酔いしれています。このような状況では、翌日早朝、北朝鮮軍はソ連製 T-34 戦車を前面に出して奇襲南侵を開始しました。国軍は将兵をすぐに集めて応戦したが、タンク一台のない都合では戦線を守ることしかたがありませんでした。6 月 27 日に北朝鮮軍の戦車部隊の一部が、ソウル市内を掌握し始めてわずか 3 日ぶりでソウルが陥落しました。

2.国連軍派遣と仁川上陸作戦

駐米大使を通じて北朝鮮の南侵ニュースが米国へ知られ、米国は 25 日、国連安全保障理事会の開催を緊急招集しました。安全保障理事会は、北朝鮮の南侵を「侵略行為」と規定して、北朝鮮軍の撤退を促すを決意する一方、国連加盟国に、韓国に援助を提供することと、北朝鮮に対して援助を中止することを要請しました。 7 月 7 日に国連安全保障理事会では、管轄権を米国に委任する決議を採択することにより、マッカーサー元帥が国連軍総司令官となって、16 カ国の軍隊で構成された国連軍の派遣が決定しました。
このように急速に米国が出て、国連安全保障会議の決議という措置と国連軍派遣がされたのは、想像を超越することでした。この時、李承晩大統領は慶尚南道の知事管に牧師を呼んで祈りを願いしました。神は叫ぶ主のしもべの涙の祈りを聞き、マッカーサー司令官の心の中に仁川上陸作戦というアイデアを与えました。
1950 年 9 月 15 日未明に米国の海兵隊と韓国軍は仁川上陸作戦を開始して、次の日、仁川を奪還しました。奪われたから 3 ヶ月ぶりにソウルを修復した国軍と国連軍は引き続き北上して 10 月 1 日、38 度線を超え平壌を経て鴨緑江に達しており、11 月には豆満江一帯まで進撃して統一を目の前にしています。ところが、100 万人の中共軍の介入が開始されました。その後前進と後退を繰り返す戦闘が継続される 1953 年の休戦協定をして、現在のような 155 マイル休戦ラインが引かれるようになりました。休戦協定以後、南北が対峙して、時には一触即発の危機状況を迎えつつ休戦状態が今まで続いています。

3.韓国と北朝鮮の比較

解放後、半世紀が経った今日に来て韓国と北朝鮮を比べてみると、すべての面で著しい格差がわかった。戦争が襲った国土は南北のすべて焦土化しました。韓国は資源すらないから生きる道が真っ暗でした。それでも北朝鮮は発電施設や産業施設そして鉱物が多く、60 年代までは韓国より経済的に優れています。しかし、今になって、韓国は先進国に成長したが、北朝鮮は、一言で生活現実がひどくします。このように顕著な違いを生じるようにした要因は何ですか？
第一、 体制の違いです。大韓民国は、自由民主主義体制であり、北朝鮮は共産主義体制です。北朝鮮は一人の独裁体制です。共産主義は、私有財産を許さず、国がすべてのものを所有し、経済活動を制限する統制経済体制です。大韓民国は、市場経済体制です。過去 70 年の間にシステムの競争で、その優劣がはっきりと分かりました。
第二に、韓国は友好国、米国の経済援助と多角的な支援と、特に韓米同盟によって北朝鮮の赤化統一のための侵略野望を牽制することにより、経済発展を図り、先進国の隊列に入っている。韓国の経済力は、北朝鮮の 48 倍になります。
第三に、これらの要因に加えて、クリスチャンが知っている要因があります。それは、実際に最も根本的な要因です。北朝鮮は信仰の自由がなく、韓国は信仰の自由があるということです。北朝鮮は解放後、キリスト教の抹殺政策をしました。聖職者たちを殺し、教会を破壊した。北朝鮮は国家の支配者を神格化しています。平壌の万寿台の丘に金めっきされ 23 メートルの金日成、金正日の銅像が建てられており、北朝鮮の住民は、その像に参拝します。北朝鮮全域に金日成の銅像が 4 万個もあります。
そうすれば果たして彼らは人民を公平にすべてがうまく生きるのか？北朝鮮では食糧不足で、1990 年代に 300 万人が餓死し死亡した。その理由は、神から供給される知恵とアイデアがないからです。教会を抹殺して、神を排斥した人間の脳から出るアイデアは滅びているアイデアだから、その結果が悲惨なことです。

4.私たちがするべきこと

しかし、私たちが油断しないでください。私たちの現実に暗雲が押し寄せています。安保意識のゆるみと安保不感症が暗雲のように、国民の心の中に音もなく押し寄せています。国民の心に自虐と不平不満の暗雲は押し寄せています。宗教多元主義と世俗化が暗雲のように教会に押し寄せています。国民は警戒心が必要です。
牧師と聖徒たちは、覚醒します。赤化統一されないように叫んで祈りが必要です。全能の力によって善良な国民がくやしがっても訴えるところがなくなり、教会の活動が制御されることが発生しないように叫んで祈りが必要です。また、私たちは当然、感謝の対象に感謝します。まず神に熱い心で感謝してください。韓国が日本の圧制からはずれと 6.25 戦争で勝利したのは、どの意味で見ても奇跡です。教会が急速に復興にされたのも奇跡です。これらの奇跡は、神様がともにし助けてくれた結果です。私たちは、韓国戦争に参戦して負傷したり、命を失った国軍将兵の感謝の気持ちを忘れてはいけません。命を失ったり、負傷した国連軍の心の中に深く感謝します。特に 5 万人に到る米軍兵士たちが戦死して行方不明になって捕虜され戦後に莫大な経済的支援をして、今日まで同盟国として韓国を守ってくれている、米国政府と国民に心から感謝します。

5.私たちがしなければなら祈りの課題

第一 、私たちの大統領と政府は、北朝鮮政権が赤化統一の野心を決して捨てないという事実を確実に認識して対処するように祈る必要があります。第二に、自由民主主義と市場経済、そしてキリスト教の信仰が保証されているシステムが持続するように祈るべきです。第三に、我々は、北朝鮮が自由民主主義と福音の波に覆われ、これことを祈りします。第四に、韓国が困ったときに助けを与えた国と国民に感謝し、彼らのために祈る必要があります。第五に、韓国教会が歴史的な使命を自覚し、これを忠実に実行するように祈る必要があります。

聖徒の皆さん、韓国が日帝治下での奇跡的な解放、朝鮮戦争の勝利で、韓米同盟、驚異的な経済発展、教会の急速な復興がすべてのことを詳しく調べてみると、神の特別な恵みを受けた結果であったことは明らかです。神これらの恵みを施さ理由は、韓国の教会が宗教多元主義のと世俗化を排撃し、聖書そのままの原色信仰を持っている民族福音化と世界宣教の使命を実行するようにしたいと思います。教職者と聖徒たちが神よりも人を恐れたり、神よりも人を喜ばせようとしている中で、神様から捨てられることがないようにします。 皆様はこれを心に留めて祈り、行動するので、神から誉めと賞を受けることになりますように。お願いします。